

インターネットトラブル事例集見直しに係る協力校の募集 募集要項

総務省では、学校・家庭において最新のネットにおけるトラブルの事例を把握し、適切にインターネットの安心・安全な利用を指導するための教材として「インターネットトラブル事例集」（以下「事例集」という。）を平成 21 年度より毎年作成し、インターネットの安心・安全な利用方法の啓発に努めてきました。

本年度事業では、児童生徒の皆様からの意見を十分に反映した、より有益な事例集にするための見直しを行うため、全国の学校から協力校の募集を行い、ワークショップを実施する運びとなりました。

つきまして、本募集要項をお読みいただき、ぜひ積極的なご応募をいただけますようお願い申し上げます。

（１）ワークショップの実施概略

ワークショップの実施概略は次のとおりです。

実施対象	小学校・中学校・高校合わせて 10 校程度にて実施
実施回数	各校 2 回ずつ実施
所要時間	1 時間程度（※授業時間内とするなど調整可）
実施時期	第 1 回 2026 年 11 月上旬～12 月上旬 第 2 回 2027 年 1 月下旬～2 月下旬
実施手段	●ワークショップ形式（各校に訪問します） …3～4 名程度の小グループを編成し、グループごとに模造紙・付せんを用いて、KJ 法を援用した手法により、具体的な見直し提案を行っていただきます。
議論の対象	●事例集に掲載されている「事例」又は「特集」記事に対する意見聴取 …割り当てられたコンテンツについて、事務局が提示する素案に対して議論をいただきます。
募集方法	●全国の学校から募集（※詳細は次頁以降参照） …応募単位はクラス、部活動・サークル、委員会、その他任意グループを可能とします。ワークの都合上、最低 12 名以上、35 名以内を目安としますが、35 名を超える応募も可能とします。なお、応募は事務局との連絡調整、校内の調整等が必要となることから、担当いただける教職員よりご応募をお願いします。
応募先	応募サイト（https://www.murc.jp/information/project_information/pjt_info_261006/）内の「お申し込みはこちら」もしくは右記二次元コードから申し込み画面へ直接アクセスしてください。 実施主体：総務省情報流通行政局 情報流通振興課情報活用支援室 事務局：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 

(2) 応募要領

① 募集の対象

- ・ 国の政策づくりに関わってみたい全国の小学校及び中学校・高校を対象とします。
 - ・ 小学校については小学5年生又は6年生とします。
 - ・ 中学校・高校については参加者の学年の制限はいたしません。
 - ・ 上記学年の条件を満たしていれば、学年混成による応募も可能とし、中高一貫校の場合、中学生と高校生が混成することも可能とします。ただし、小中一貫校での小学生と中学生以上の混成は不可とします。

	小学校	中学校・高校
学年	5年生又は6年生	学年を問わない
混成	学年混成可 ただし、小中一貫校等における小学生と中学生以上の混成不可	学年混成可 中高一貫校における中学生・高校生の混成も可

② 応募要件等

1) 応募単位

- ・ 参加児童生徒が12人以上35人以内を目安とします。ただし上限については相談可能です。
- ・ 応募単位は問いません。応募単位の例は次のとおりです。

- | |
|---|
| ○授業・クラスの単位
○部活動・サークルの単位
○委員会活動の単位
○その他、任意のグループを組成しての参加 |
|---|

2) 応募要件

- ・ 概ね2026年11月上旬～12月上旬の間、2027年1月下旬～2月下旬の間に、それぞれ1回ずつ、計2回のワークショップを実施可能であることとします。
- ・ 第1回、第2回いずれも、ワーク当日の進行を円滑に行うために、事前に「意見シート（仮称）」に取り組んでワーク当日に参加していただきます。ただし、事前・事後の提出は求めません。当日の意見交換時に、各自が参考とするものとなります。
- ・ ワークショップの実施結果は総務省ホームページで公表予定であり、これに承諾いただけることとします。ただし、原則として、児童生徒の顔が判別できない状態での公表とし、公表前には各校への掲載確認を行います。
- ・ 可能な限り1時間又はそれ以上の時間を確保可能であることとします。ただし、授業時間の1コマ（45～50分）となる場合でも積極的にご応募ください。※なお、授業時間のみならず、授業時間外の放課後等での実施も可能です。

3) 応募者（応募責任者）

- ・ 応募は教職員を通じてのみ可とします。児童生徒は教職員への相談・協力を得て、担当いただける教職員より応募してください。
- ・ 応募された教職員におかれては事務局と次の調整にご協力をお願いします。

○ワークショップ実施日時の調整
 ○ワークショップ実施教室の確保
 ○児童生徒に対する資料の展開・当日持参の指示（事前ワーク（5頁参照）の指示含む）
 ○ワークショップに要する備品等の受領（備品は事前に発送を予定）
 ○ワークショップ実施に係る児童生徒への連絡・調整
 ○その他、ワークショップ実施に係り必要な学校内での調整
 ○その他、事務局との連絡窓口

※ワークショップ中の同席は不要ですが、同席いただくことを妨げることはいたしません。

③ 応募方法

- ・ 本調査研究受託事業者である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社の応募サイトから応募してください。
- ・ 応募にあたっての入力事項は次のとおりです。

応募学校名	学校名
学校所在地	都道府県市区町村まで
設置主体	国立、公立、私立
学校種別	小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、その他
参加者の学年 （複数回答可）	小学校5年生、小学校6年生、 中学校1年生、中学校2年生、中学校3年生 高校1年生、高校2年生、高校3年生
参加児童生徒数	ワークショップ参加予定人数
参加者の属性 （自由記述）	（回答例） クラス、部活動・サークル、委員会、その他任意グループ 等
応募のきっかけ	児童生徒の希望、教員の提案、その他（ ）
実施日時の想定 （複数回答可）	平日授業時間中、平日放課後、土曜日、その他（ ）、未定
実施可能時間	45～50 分以内（授業1コマ）、1 時間程度、それ以上の時間も相談可、 その他（ ）、未定
実施希望候補 （自由記述）	現時点での実施希望日や実施不可日があれば自由にご記入ください。未記入でも応募可能です。※実施希望日については希望通りとならない場合があります。
応募者名	事務局との調整を担う教職員の名前
応募者連絡先	教職員の電話番号・メールアドレス

④ その他

- ・ ワークショップ参加者には、参加児童生徒1人1人に対して参加証を配布します。
- ・ ワークショップの実施について、各校ホームページ等での紹介を可能としますので、ぜひご公表ください。
- ・ 時間の都合上ワーク時間が十分に確保できない場合には事後アンケートを依頼する場合があります。
- ・ 応募者多数の場合は抽選により実施校を決定しますのでご容赦ください。

⑤ 問い合わせ先

応募に関してご不明点やご相談がある場合には、事務局までお気軽にお問い合わせください。

事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

政策研究事業本部 地域政策部 中野（なかの）、岸（きし）、土方（ひじかた）

E-mail ntsuryey@murc.jp

電話 03-6733-3446 ※問い合わせ可能時間：平日 10：00～17：00

※ メールは随時受付いたしておりますので、メールでのお問い合わせをご活用ください。

※ お電話に応答できなかった場合には折り返しのお電話をいたします。お手数ですがご所属とお名前を留守番電話に残していただきますようお願いします。

（参考）インターネットトラブル事例集の「事例」記事と「特集」記事の違いについて

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

「事例」記事	「特集」記事
オレンジのサムネイルで記事の見出しに番号が付されているコンテンツ	水色のサムネイルで「身近な人と一緒に考えよう」とタグがあるコンテンツ
 新しいタブで開く	 新しいタブで開く

(参考) ワークショッププログラム (案)

現時点でのワークショップ実施方法の案は次のとおりです。

※一部変更となる場合があります。

<ワークショップの内容>

1) 第1回

- ・ 各校に割り当てられた見直し対象の事例又は特集記事に係る見直しの「コンテンツ素案」を事前に事務局から提示します。
- ・ 参加者各自がこれを確認し、各自でワークショップ当日に述べる意見を整理するための「意見シート（仮）」による簡単な事前ワークを行った上で、ワーク当日にコンテンツの見直しに係る意見交換を行っていただきます。※提出は求めません。
- ・ ワークでは、参加者を3～4名の1グループに編成し、グループごとに事前ワークの結果を共有しつつ、模造紙・付箋を用いて、KJ法を援用したワーク形式によりコンテンツの具体的な見直し提案を行っていただきます。
- ・ 各グループからの具体的な見直し提案を踏まえ、コンテンツ素案の修正を行います。

2) 第2回

- ・ 第1回での提案と、総務省及び有識者による議論の結果からコンテンツ素案を見直した「コンテンツ案」を事前に事務局から提示します。
- ・ 参加者各自がこれを確認し、各自でワークショップ当日に述べる意見を整理するための「意見シート（仮）」による簡単な事前ワークを行った上で、ワーク当日にコンテンツ案に係る意見交換・修正案の提案を行っていただきます。※提出は求めません。
- ・ ワークは第1回と同様に行います。ただし、グループ編成は可能な限り第1回で意見交換を行ったグループと変更していただきます。※本件は各校と要調整・相談いたします。
- ・ 各グループからの修正案については、精査して適宜反映し、コンテンツを完成させます。

<ワークショップ当日タイムテーブル>

1時間を想定したワークのタイムテーブルは次のとおりです。

時間	所要時間	内容
00:00～00:10	10分	挨拶・趣旨説明
00:10～00:15	5分	ワークの説明
00:15～00:25	10分	各グループでの事前ワークの共有
00:25～00:50	25分	具体的なコンテンツの見直しの提案
00:50～00:55	5分	全体共有
00:55～01:00	5分	ラップアップ・閉会

以上